

第2部 行政推進プログラムの推進状況

平成13年度から平成17年度の間、神戸県民局が主体となって県民の参画と協働のもとに推進を図ってきた施策・事業の概要を提示します。

1 神戸の魅力を高める総合的な県行政の推進

神戸市とも連携しながら、多くの市民の参画と協働を得て、神戸地域ビジョンの推進をはじめ、魅力あるまちづくりのための施策・事業を立案し、推進してきました。

(1) 神戸地域ビジョンの推進

平成13年9月に神戸地域ビジョン委員会が発足し、「農都・神戸づくり」「六甲山」「神戸経済の活性化」「グローバルな魅力づくり」「環境・循環型社会」「子育ての支援」「青少年育成」「高齢者が高齢者のお世話をする」「担い手の連携」「楽校ネットワーク」といった実践活動グループが形成され、農都・神戸マップ、六甲山の楽しみ発見マップの作成をはじめ、神戸地域ビジョンの実現に向け、県民自らが主体的に取り組む「県民行動プログラム」に沿った様々な活動が行われてきました。こうした県民の参画のもとに開催された神戸地域夢会議は平成16年度末現在、合計45回開催され、3千人を超える県民が参加しました。

(2) 総合的な企画調整機能の発揮

神戸市域における県行政施策の重要課題を、総合的な観点から協議し基本方向を決定し、県民局重要施策の進行状況を把握するなどの連絡調整を行い、地域における県政の総合性確保と効率的執行に努めてきました。また、初代県庁が置かれた「兵庫勤番所」の復元及び活用方法のあり方について基礎的な研究を行う「県庁発祥地記念事業の調査検討」や、灘区西部の「灘文化軸活性化への支援」など、魅力ある地域づくりに取り組んできました。

(3) 自治振興事業等の推進

市民がいきいきと暮らせ、地域の個性をのばすまちづくりのために、「生活排水対策事業」や「地域コミュニティ推進事業」などの神戸市事業を支援するとともに、財産区住民の総意による財産区の適正な運営を推進してきました。

(4) 広報・広聴活動の総合的推進

神戸市民の県政に対する理解を深めるため、「県民だよりひょうご」神戸版や神戸県民局ホームページによる広報のほか、平成16年度からは新たに「神戸県民局かわら版」を発行し、各種県政情報を神戸市民にきめ細かく提供してきました。

また、地域団体などが、県・市町の対象施設を見学し、県政についての県民の理解を深める「走る県民教室」には多くの市民の参加がありました。

(5) さわやか県政の推進

神戸市民に県政情報を提供する「神戸地域県政説明会」を各区分に開催するとともに、市民団体を対象にした「さわやかフォーラム（知事と神戸市民が語る集い）」や知事と県民が対話する「さわやかトーク（知事と実践活動グループの意見交換会）」などを開催してきました。

(6) 県民の参画と協働の推進

「県民の参画と協働の推進に関する条例」の理念の普及啓発を行い、「新しい公」をともに担う、協働によるパートナーづくりをめざす「地域づくり活動登録事業」などにより、県民の参画と協働を推進しました。また、明るく住みよい地域づくりに貢献し、その功績が優れた実践者を表彰する自治賞の表彰を行ってきました。

(7) 県政を支える県税収入の確保

県税収入の最大限の確保を図るため、課税調査の充実・強化に取り組むとともに、効果的・積極的な滞納整理を促進し、収入未済額の縮減に努めてきました。

(8) 情報公開の推進

情報公開制度の運用により、県の保有する情報を広く県民に公開し、県民の県政への参加促進に努めてきました。

2 人と人が結び合う温かいコミュニティづくりの支援

市民の活発な地域づくり活動、生活創造活動、生涯学習への支援を通じて、コミュニティづくりを進めてきました。また、子どもや青少年の健全育成をはじめ、介護保険制度の円滑な実施に努めてきました。

(1) 「美しい兵庫 21」をめざす実践活動の推進

<地域づくり活動の推進>

「こころ豊かな美しい兵庫」をめざすため、ふるさとひょうご創生塾による地域づくりリーダーの育成とともに、県民の身近なアドバイザーとして、また、地域で活動する各種推進員の連携の推進役として地域づくり活動サポーターを設置することや、地域団体の活性化やコミュニティの充実をめざす地域団体の取組みに対して地域団体活動パワーアップ事業による助成を行うことにより、地域づくり活動の支援及び推進を図ってきました。

<生活創造活動の促進>

様々な分野で生活創造活動を実践するグループの育成・支援を行うため、講座やセミナーを開催するとともに、グループ登録制度を設け、活動ブース、印刷・製本室の利用などの便宜供与を行ってきました。また、「生活創造しんぶん」や生活創

造活動情報誌「WAVES」の発行・配布により、生活創造活動の活性化を図ってきました。

<生涯学習の推進>

学習グループなどの活動の支援のため「生涯学習リーダーバンク」の設置・運営や、県内の学習グループなどが行う講演会や研修会などへの講師派遣を行ってきました。

また、「生涯学習情報プラザ」を開設し、生涯学習に関する情報提供やアドバイスを実施するとともに、「生涯学習支援者養成研修会」の開催により県民の学習活動を支援する人材の養成などを行ってきました。

(2) こころ豊かな人づくりの推進

<青少年の健全育成・愛護>

地域ぐるみで青少年の非行防止や環境浄化活動を行い、青少年愛護活動条例を適正に運用するとともに、パソコンや携帯電話などを媒介にした子どもたちのトラブルに対する「子どもたちの出会い系サイト何でも相談電話」をはじめ、「こころ豊かな人づくり 500 人委員会神戸ブロックセミナー」や「土曜家族ふれあいハイキング」の実施などにより、青少年の健全育成に努めてきました。

<子育て家庭の応援>

子どもたちへの声かけや見守り活動を展開する「ひょうごハート・ブリッジ運動」の推進、子育て中の親が気軽に集い、子育ての悩みを解決し、情報交換できる「まちの子育てひろば事業」の実施、子どもたちが旺盛な好奇心やエネルギーを発散させ、自分の責任で自由に遊ぶ「子どもの冒険ひろば」の開設・運営などにより、地域ぐるみで子育て家庭を応援してきました。

<地域教育・体験学習の推進>

地域教育推進委員の設置や県民主体の地域教育活動を支援するとともに、子どもたちが様々な体験活動を通じて生きる力を育めるように、小中学生を対象に「自然学校」や「トライやる・ウィーク」を実施してきました。

(3) すこやかな社会づくりの推進

介護サービス提供事業者の指定、介護保険事業者に対する指導・監査を行い、介護保険制度の健全かつ円滑な運営、介護サービスの質の確保及び保険給付の適正化に努めてきました。また、「善意の日」記念行事や「愛の鍋」預託事業を実施し、「ひょうごたすけあい運動」を推進してきました。

(4) 震災復興総合相談の実施

「震災復興総合相談センター」（平成 17 年度からは「兵庫県民総合相談センター」）において、住宅、労働、税などあらゆる分野の専門的な相談を行うとともに、県民に

必要な情報の効果的な提供に取り組んできました。

(5) 生活情報の提供

神戸生活創造センター「生活情報プラザ」を運営し、消費生活、芸術文化、環境、健康福祉、地域づくりなどの幅広い生活情報やグループ活動情報、地域情報などをホームページも活用しながら、広く県民に情報発信してきました。

3 安全、安心なまちづくりの推進

神戸市や市民と協働のもとに、防災対策や防犯対策を進めるとともに、治山・治水事業などを実施し、自然環境や地域景観との調和を図りながら、安全・安心なまちづくりを推進してきました。

(1) 地域安全対策の推進

地域住民による「まちづくり防犯グループ」の自主的な防犯活動を支援するなど、地域ぐるみ安全対策を県民総参加の運動として推進してきました。

また、災害情報の収集・伝達のための「フェニックス防災システム」の活用や、地域防災力の向上をめざして「ひょうご防災カレッジ」を開催したほか、日常的にはまちの広場、ふれあいの場として利用でき、災害時は水防活動や復旧活動など防災活動の拠点となる、住吉川河川防災ステーションや新湊川河川防災ステーションを整備してきました。

(2) 河川対策の推進

明石川(西区)、都賀川(灘区)、新湊川(兵庫・長田区)などの河川改修や、石井ダムの整備により、治水安全度の向上を図ってきました。

(3) 土砂災害対策の推進

砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業、地すべり対策事業、治山事業を推進してきました。また、六甲山麓地域の土砂災害に対する安全性を高めるとともに、緑豊かな都市環境及び自然環境や景観の保全・創出を図るため、市街地に隣接する山腹において、「六甲山系グリーンベルト整備事業」として斜面崩壊に強い防災樹林帯の形成を行ってきました。

(4) 農地等保全対策の推進

農業用水の保持や治水能力に配慮しつつ、自然の生態系に富んだ親水空間としてのため池の整備保全を行うとともに、地すべりなどから農地を保全するほ場整備を進め、安全・安心な地域づくりを進めてきました。

(5) まちづくりの総合的な推進

神戸市と連携したまちづくりに関する相談・普及・啓発、まちづくり政策の推進に

かかる調整などを行うことにより、まちづくりを総合的に推進するとともに、適法な建設工事施工や宅地建物取引のために、建設業者などの指導監督などを行ってきました。

(6) 消費生活相談体制の整備

商品・サービスの安全、品質機能や契約についての消費者からの苦情、問い合わせなど、暮らしに関する相談を受け付け処理するとともに、消費者問題についての講義・情報提供を行ってきました。

4 チャレンジする神戸経済の振興

産業のIT化、新産業の創造、商店街の活性化、起業支援、地域ツーリズムの推進を通じて、神戸経済の振興を図ってきました。また、多様な雇用就業機会の創出や勤労者福祉の推進を図ってきました。

(1) 産業のIT化への支援

中小企業経営者・管理者向けのITセミナーの開催、地域産業とソフトウェア業との出会いの場を設け、地域産業のIT化と情報産業の振興を図るITブリッジ事業を実施してきました。

また、地場産業や商店街などが行う自主的な研究活動を支援するとともに、地域産業や中小零細企業のグループに対して、先進的なネットワークシステムなどを構築するための支援を行ってきました。

(2) 地域ツーリズム行動プログラムの推進

神戸地域のツーリズムマップを神戸市と連携して作成・配布するとともに、ツーリズム資源の調査及び掘り起こしを行い、ホームページで情報を発信してきました。

また、ツーリストに対するホスピタリティの向上に努めてきました。

さらには、阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂と都市の復興と再生を願って、神戸ルミナリエの開催を平成8年から支援してきました。

(3) 地域産業活性化への支援

<新産業の創造・経営革新事業の推進>

生活の質の向上に役立つ新製品・新サービスの研究開発から市場提供までに対して、総合的に支援するとともに、中小企業者、組合などが行う経営革新計画に基づく事業を支援してきました。

<商店街等高度化・活性化事業の推進>

商店街の活性化を推進するため、商店街が取り組む将来ビジョンづくりへの支援や、商店街などが地域と一体となって実施するイベント事業に対する助成、第三セクターや商店街振興組合などが行うテナントミックス店舗や街路灯などの商業基盤施設の

整備に対しての助成などを行ってきました。

また、中小企業者が、共同工場や共同店舗などを設置する事業に対して貸付を行い、経営の高度化を支援してきました。

<起業家支援事業の推進>

新たに起業をめざす離職者などのグループや起業のためのビジネスパートナーを求める離職者などを支援するため、ビジネスパートナーとの出会いの場の提供、ビジネスプランの作成指導、創業資金の一部助成を行ってきました。

(4) 多様な雇用就業機会の創出

職業生活と家庭生活の両立を支援するために、地域の活動ネットワークによる「育児ファミリーサポートセンター」の運営経費補助を行うとともに、「職場でのパートナーシップ啓発のためのセミナー」を開催し、必要な知識や情報を提供してきました。

また、ワークシェアリングの普及に向け、「多様な働き方研究会」を開催するとともに、アドバイザーを派遣して実践的な知識を提供するなど、ワークシェアリング導入にあたっての様々な課題の解決方を助言してきました。

(5) ゆとり創造と勤労者福祉の推進

労働相談員を配置して、一般労働相談、弁護士相談、合同相談を実施してきました。また、県下の労働組合及び中小企業の指導的立場にある者に対し、労使関係及び社会経済の最新の諸問題について、専門的な講座を実施してきました。

5 自然と共生する快適な都市環境づくりの推進

六甲山系の環境保全と再生や、野生鳥獣との共存を図る取り組みを進めてきました。また、花と緑豊かな都市環境づくりや、都市公園の整備、地域環境の保全を推進してきました。

(1) 六甲山系の森づくりの推進

自然との共生のシンボル六甲山において、自然環境の保全・防災・レクリエーション利用、景観形成に配慮した森づくりを進めるとともに、その被害防止に取り組んできました。また、有馬地域の里山林を人々が森と親しむことのできる環境林、文化林への再生に取り組んできました。

(2) 神戸の魅力づくり

<都市景観の形成>

水と緑豊かな都市景観の創出を図るため、都賀川(灘区)、住吉川(東灘区)などでのまちと一体となった川づくり、河川美化・緑化活動やまちなみ景観形成活動などの支援を行い、魅力ある河川整備を進めてきました。また、六甲山麓において、樹林帯の保全・育成による緑豊かな都市景観形成に取り組んできました。

＜都市公園の整備＞

市民とのパイロットウォーク実施によるウォーキングマップの作成、「根上がり松」再生事業の着手や各種イベントの開催など、県立舞子公園及びその周辺を含めた多様な施設・資源を活用するとともに、地域住民や文化団体との交流に取り組み、公園の活性化を図ってきました。

（３）人と自然が共生する空間づくり

都賀川(灘区)、明石川(西区)、有馬川(北区)などにおいて、地域の特色を活かし、人々が集える水辺空間の形成に取り組んできました。また、グリーンベルト整備事業により、六甲の自然とふれあえるレクリエーションの場の創出に取り組んできました。

（４）豊かな自然の恵みを活かした交流の仕組みづくり

六甲山や河川を機軸として、コミュニケーション・チャンネルを広げ、河川愛護アドプト事業、新湊川ウォーク、六甲の森のなかまたち交流会など、地域住民の参画と協働による事業に取り組んできました。

（５）花と緑豊かな都市環境づくりの推進

緑豊かな美しいまちづくりの推進を図るために、緑化用苗木の配布、花苗やプランターなどの園芸資材の提供を行い、県民による緑化活動を推進してきました。

（６）野生鳥獣との共生

狩猟の適正化とともに、市街地に出没するイノシシなどの危害から住民を守るため、猟期外捕獲の実施、モデル防護柵の設置、イノシシ緊急対策協力員の設置などを行い、野生鳥獣との共存に努めてきました。

（７）地域環境保全の推進

六甲山上では、「六甲山ガイドハウス」の開館、「山の案内人」によるボランティアガイドの実施など、県立六甲山自然保護センターの機能強化を図り、六甲山における自然とのふれあいを推進してきました。

また、明石川流域では、自治会、農林漁業関係者、環境保全活動団体などからなる「明石川再生流域協議会」を設置し、森・川・海をつなぐ自然環境の再生に取り組んできました。とりわけ、子どもたちに体験などで得た知識を環境保全に活かしてもらうため、流域の小学校と連携して「明石川子ども環境会議」を実施してきました。

さらには、省資源・省エネルギー、地球温暖化防止の普及・啓発や第1種フロン類回収業者の登録事務などを行ってきました。

6 都市と「農」が共存・対流する「農都・神戸」づくりの推進

田園地域と市街地、農林水産業の生産者と消費者が交流を深め、より安心できるおい

しい新鮮な食材を提供するとともに、豊かな自然を育むよう、農林水産業の振興や快適な農林水産業地域の形成を推進してきました。

(1) 地域住民のニーズに即応した農林水産業の振興

<農業の担い手の育成・支援>

認定農業者などの営農計画の樹立、経営診断・指導、農地の出し手・受け手の結びつけ活動、担い手への流動化などを行うとともに、新規就農者の経営開始計画の作成、新規就農希望者への研修、就農条件整備のアドバイスなどを行ってきました。

また、集落営農の確立と大規模農家の育成をはじめ、都市住民との交流・地域活性化などを目標とした里づくり計画の策定、集落内直売所の設置などを行ってきました。

<多様な農漁業の振興>

都市近郊野菜産地を育成するため、ビニールハウスの設置、農産物直売施設や加工施設などの整備を行うとともに、地産地消を促進するため、おいしいごはんを食べよう県民運動やボランティアによる食育の推進、農産物直売所の整備、地場産農産物のPR、農産物加工グループの製品開発や販売促進活動を行ってきました。

また、果樹や花の生産・流通の拡大、収益性の高い水田農業、環境創造型農業の推進、優良農地の確保、資源管理型漁業の推進、漁港整備などを行ってきました。

(2) 安全、安心、快適な農林水産業地域の形成

農業集落排水事業、農村総合整備事業、農道整備事業の実施により、農村地域の生活環境の整備、都市住民との交流の場を整備してきました。

また、集落営農組織などを活かした水田農業のモデルを育成し、学童稲作学習を実施して交流を図るなど、里づくりから、快適な地域づくりを進めてきました。

(3) 地域の農林水産資源を活かした楽農生活（アグリライフ）の促進

地域住民などが収穫の喜びを感じ、「農」とふれあい、多くの人との交流の場となる市民農園の整備を促進するとともに、都市住民と農村の交流や農業・農村体験など、農村地域の自然や農林水産物を活かす、「農と食」を楽しむライフスタイルの定着・普及を図ってきました。

また、小学校児童が稲作体験などの農業体験を通じて、農業への理解促進や収穫の喜び、生命の尊さを学習、実感するとともに、地場産農産物を学校給食に供給できる体制を整備して、食農教育を推進してきました。

(4) 緑と水の空間づくり

ため池クリーンキャンペーン・いきいきため池大作戦を実施し、県民の協働による、農地、ため池、水路などの維持・保全に取り組むとともに、里山手入れ体験教室の開催などにより、森林ボランティア団体を育成する一方、森林を無秩序な開発から守り、災害防止や水の確保、CO₂吸収の働きをはじめとする環境保全機能の維持・増進に取り組んできました。